



平成25年度事業報告書





平成25年度事業報告

◆平成25年度法人方針と活動状況について

はじめに・・・

ここ数年、障がい者への法律が休む間もなく変わっています。平成25年4月スタートの「障害者総合支援法（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律）」は、平成26年4月1日より一部改正（障害支援区分の見直し、重度訪問介護の適用拡大、グループホーム・ケアホームの一元化）されました。平成24年10月「障害者虐待防止法」施行の後、平成25年6月「障害者差別解消法」が成立、平成26年1月20日障害者権利条約が批准されました。この条約は障がいをお持ちの方が「生きにくさ」を感じたり、社会参加の機会を阻まれたりすることに対する「社会の側の問題」を総合的・計画的に除去することが目的となっていますが、共生社会を実現するためには、相談支援、生活支援、就労支援などの一層の充実が必要となります。

「Challenge & Change For Vision」

（ビジョンを基に更なる挑戦と更なる変革で更なる高みへ！）

を法人方針に掲げ、各事業が取り組んできました。

ゆらくの里におきましては、日々の運動、口腔ケアの導入など健康管理の継続とともに、「特定非営利活動法人自閉症eサービス」を活用し、自閉症支援の専門的能力の向上を図ってきました。

今人等の就労事業におきましては、新たな活動として「ナチュラルカフェ モンステラ」を平成25年4月にオープン。我楽の就労継続B型事業としてパンの製造、接客、販売などの業務に携わっていただいております。また平成25年9月より香芝市の指定管理者として「すみれの里」の運営を開始しました。ニーズに応じた支援の提供により、地域で生活されている方への日中活動を充実させ、共生社会の実現に向け活動しております。

地域事業に目を向けると、放課後等デイサービス事業は他業種（一般企業を含む）からの参入が進む中において、コテージ、はぐ・らいぶとともに、これまで培ったノウハウを生かした活動を行っています。今後、現在のノウハウや設備を活用し未就学児向けサービスの検討も行ってまいります。

グループホームの開設が1年遅れでの開設予定であります。結果的に準備期間が十分に取れたことで、ニーズに沿ったものに仕上がる予定であります。

26年度も引き続き、多くの地域ボランティア様のお力をお借りすることとなります。皆の力で楽しく暮らせる共生社会を築いて行きたいと思えます。下記に具体的な活動報告を致しますがご高覧のうえご審議賜りたくお願い申し上げます。

法人全体として方針に対する結果報告・・・

「Challenge & Change For Vision」

(ビジョンを基に更なる挑戦と更なる変革で更なる高みへ！)

〔使命〕 共生社会の創造と支え続ける信念

- 児童期から高齢期までの一貫した支援体制の創造
- 生きる目的・生きる信念・生きる楽しみを提供できるサービスを創造する。
- 即応性・柔軟性・強靭性を併せ持った体質を創造しいかなるニーズにも応えられる体制を構築する
- 地域に必要と思われる事業体になる為、積極的に地域との交流を図る
- 奈良県下唯一と言われる強み（専門性）を創造する

〔中期計画目標〕

- 健康・健全・・・職員及び利用者の健康と健全な信念と経営
- 財務体質の強化・・・将来に向けた投資をできるような財務状況にする
- 人材育成・・・人を育てる体質の強化

〔使命〕 共生社会の創造と支え続ける信念

カフェ及びすみれの里が新たに加わることによって、成人の方への地域での支援する受け皿が更に充実しました。地域に暮らす障がいをお持ちの方への支援の充実が図れるとともに、ボランティアやカフェに来られる方との交流など、地域での共生は着実に前進しています。また児童期を以和貴会の施設をご利用いただいた方が成人期に利用される作業提

供も充実してきました。まだ十分にニーズに応えきれていないことも多々ありますが、児童期⇒青年期⇒中高齢期と一貫した支援を提供できる体制が整いつつあります。

25年度は、ゆらくの里をはじめ、今人・我楽においては、自閉症支援について専門機関とタイアップし取り組んできました。まだ道半ばであり引き続き平成26年度も継続していきますが、この取り組みにより、着実にご利用者の生活が変わってきております。児童課におきましても同様に自閉症者への取り組みを学び、支援環境の変更をはじめ、新たな取り組みとし実行しております。

2. 中期計画目標

□健全・健康

入所ご利用者は、日々高齢化・重度化が進み、体力の低下や体調不良者が増加傾向にあります。健康維持を図りより楽しい毎日を過ごしていただけるように、食事、運動、口腔ケアなどの取り組みを継続します。

□財務体質の強化

平成25年度は、カフェのオープン、すみれの里の指定事業者としての運営が始まりましたが、両事業とも独立して安定した運営ができる状態にまでにはなりません。結果法人全体として、これら新規事業の影響により大幅な赤字収支となっております。平成30年度までの中期計画において、過密スケジュールを組んできております。今後計画を取捨選択し実施すること、取り組みの完成度もしくは費用対効果による費用の削減にも取り組んでいく必要があります。

平成26年度はご利用者の確保と利用率の向上をはじめとして、財務体質の改善強化に努めます。

□人材育成

人材確保を継続的に行ってきましたが、希望配置人員にはなかなか達しませんでした。その中におきまして、専門性の向上など個々の目標に一丸となって取り組み、成果を残してきました。先輩職員の個々の成長により新人職員への十分な「OJT」につながるようになってきました。

◆平成25年度各事業報告について

1. 各事業 別紙報告

アクションプラン評価記号 ○=ほぼ100%達成、△=65～95%程度達成
□=30～64%程度達成、×=29%以下の達成

2. 数字から見た運営

□平成25年度利用状況について

ゆらくの里は、3名減1名増で推移しました。退所された3名中2名は入所中の病気による死亡、1名は病気入院が理由による退所（後に死亡）とお亡くなりになられる方が増えてきております。支援度合いも増えてきており、今後の施設運営（終末期のケア方針及び配置等）を検討していかなければなりません。入所待機待ちが入るものの、重度化することでの支援負担の増加、職員配置の充実優先、グループホーム完成後の定員変更等が伴うため、現時点では定員補充を行っておりません。

今人・我楽・すみれの里の就労施設におきましては、前年度の定員変更後、現在定員が適正なのかどうかはまだ確定していない状況にあります。多数の事業で利用者数が前年割れをしていること、新たな事業を開始したことなどにより、安定利用率が確保できるのにまだ時間を要しそうです。ゆらくの里同様、自閉症支援への取組みや提供作業の充実をアピールしていきながらも、提供作業の見直しを図り、ニーズに合ったものの提供を検討していかなければなりません。

放課後等デイサービスにおいて、はぐ・らいぶは、利用率が大幅に改善されました。内容も伴い外部からの評価もいただけているものの、運営自体は経費負担が大きく赤字運営であります。またコテージですが、日中一時支援事業及び短期入所を同時に実施しております兼ね合いもあり、計画ほど増加しない現状があります。26年度から、利用日の固定を行い、事務負担を大幅に改善するほか、利用していただきやすいようにキャンセル時の対応変更も行うこととしました。負担軽減された分を十分な支援への提供につながるよう取り組んでいきます。25年度に引き続き、スーパーバイザー（重松 孝治氏 川崎医療福祉大学医療福祉学科特任講師）に来ていただき、TEACCH（自閉症および関連するコミュニケーション障害の子どものための治療と教育）を学ぶこととなっております。

ヘルパー事業（行動援護、居宅介護、移動支援）にも、24年度から力を入れてきております。25年度は前年度の36%増の1500時間を超える支援を行うことができました。地域には、買い物や娯楽のための外出をはじめ、日々支援しているご家族様の負担軽減のために、更に支援の幅を広げてまいります。

① ゆらくの里（入所支援事業） 定員 80名

	24年度 H25.3.31 現在	25年度 H26.3.31 現在		
	人員数	人員数	平均年齢	平均年数
男	55	53	48.7 (+1.2)	17.2 (+0.7)
女	22	22	52.7 (+0.2)	18.1 (-0.4)
計	77	75	49.9 (+1.4)	17.5 (+1.0)

※カッコ内は前年度比較（昨年度と計算方法の変更により若干誤差あり）

② 今人

事業名	定員	H23年度 利用率	H24年度		H25年度	
			延べ人数	利用率	延べ人数	利用率
就労移行支援	15	107.9	3102	85.1	2091 (-1011)	57.1 (-28.0)
就労継続B型	10	16.1	726	29.9	560 (-166)	23.0 (-6.9)
生活介護事業	20	68.0	3585	73.8	3677 (+92)	75.3 (+1.5)

※23年度から24年度にかけて定員変更を行っております。

※24年度数字は、見直し後修正しております。

※カッコ内は前年度比較

我楽

事業名	定員	H23年度 利用率	H24年度		H25年度	
			延べ人数	利用率	延べ人数	利用率
生活介護事業	15	45.2	2954	81.4	2421 (-533)	65.9 (-15.5)
就労継続B型	10	—	—	—	1120 (-)	45.7 (-)
就労継続A型	10	59.8	1675	69.2	1661 (-14)	67.8 (-1.4)

※23年度から24年度にかけて定員変更を行っております。

※就労継続B型は平成25年4月より開始

※24年度数字は、見直し後修正しております。

※カッコ内は前年度比較

すみれの里

事業名	定員	H23年度 利用率	H24年度		H25年度	
			延べ人数	利用率	延べ人数	利用率
就労継続B型	10	—	—	—	414	29.8
生活介護事業	20	—	—	—	1118	40.2

※平成25年9月からの7か月間で作成

③ 放課後等デイサービス

事業名	定員	H23年度 利用率	H24年度		H25年度	
			延べ人数	利用率	延べ人数	利用率
コテージ	10	72.5	1361	60.8	1459 (+98)	60.0 (-0.8)
はぐ・らいぶ	20	72.2	3312	73.9	3863 (+551)	79.5 (+5.6)

□平成25年度職員状況について

25年度は、法人全体としても新卒採用者は、コテージの1名であり、その他中途採用11名を採用しました。昨今、正職員の採用が厳しくなっております。27年度グループホーム開所予定につき、26年度中に確保できるよう取り組んでいきます。

事業名	H25.4.1			H26.3.31			常勤 換算	平均勤続年数			平均年齢		
	人数			人数				男	女	計	男	女	計
	男	女	計	男	女	計							
ゆらくの里													
サービス管理責任者	2	0	2	2	0	2		6.0	6.0	6.0	38.0	38.0	38.0
正職員	12	10	22	12	8	20	20.0						
パート職員	3	18	21	3	18	21	11.3						
計	17	28	45	17	26	43	31.3						
今人													
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		3.8	7.9	6.2	37.8	43.1	41.0
正職員	1	4	5	1	3	4	4.0						
パート職員	1	3	4	0	5	5	2.7						
計	3	7	10	2	8	10	6.7						
我楽													
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		3.3	11.0	4.9	38.0	33.9	37.1
正職員	4	1	5	3	1	4	4.0						
パート職員	0	7	7	0	10	10	5.9						
計	5	8	13	4	11	15	9.9						
すみれの里													
サービス管理責任者	-	-	-	1	0	1		1.9	1.3	1.6	41.4	41.6	41.5
正職員	-	-	-	3	4	7	7.0						
パート職員	-	-	-	1	4	5	2.0						
計	-	-	-	5	8	13	9.0						
コテージ													
児童発達支援管理責任者	1	0	1	0	1	1		0.8	4.0	3.4	25.0	32.9	30.9
正職員	0	3	3	1	2	3	3.0						
パート職員	1	1	2	1	1	2	1.2						
計	2	4	6	2	4	6	4.2						

事業名	H25. 4. 1			H26. 3. 31									
	人数			人数			常勤 換算	平均勤続年数			平均年齢		
	男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計
はぐ・らいぶ													
児童発達支援管理責任者	1	0	1	1	0	1		7.0	5.9	4.8	28.0	36.7	32.5
正職員	0	3	3	0	3	3	3.0						
パート職員	0	2	2	0	2	2	1.3						
計	1	5	6	1	5	6	4.3						
しえ〜く													
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		9.9	0	9.9	46.0	—	46.0
正職員	1	0	1	1	0	1	1.0						
パート職員	0	0	0	0	1	1	0.4						
計	2	0	2	2	1	3	1.4						
のあ													
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		9.9	4.0	7.0	39.0	26.6	32.9
正職員	0	1	1	0	1	1	1.0						
パート職員	0	6	6	0	5	5	2.1						
計	1	7	8	1	6	7	3.1						
そーる													
サービス提供責任者	1	0	1	1	0	1		10.5	—	10.5	38.2	—	38.2
正職員	—	—	—	—	—	—	—						
パート職員	5	10	15	5	12	17							
計	6	10	16	6	12	18							
管理・厨房													
正職員	4	2	6	4	2	6		5.9	5.5	5.7	42.0	47.7	43.9
パート職員	2	8	10	1	7	8							
計	6	10	16	5	9	14							
合計													
正職員	31	24	55	35	25	60				5.5			38.8
パート職員	12	55	67	11	65	76							
計	43	79	122	46	90	136							

※看護師は、ゆらくの里に含む

※パート職員の常勤換算数は、簡易算出として給与支給計算期間の平成26年3月で算出しているため、あくまで参考である（常勤の月勤務時間数を165時間で計算）

※アルバイトは含んでいない

□平成25年度残業について

各事業減少していますが、すみれの里等が新規で増加した結果、累計時間及び累計金額は増加、一人あたりに換算すると減少しております。また、次年度より新会計基準に則して分類を拠点ごとに変更します。

〔時間〕

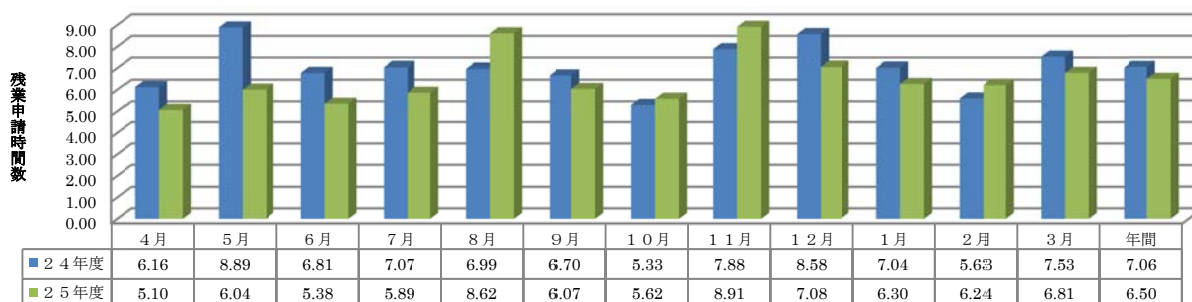
単位：時間

事業名	H24 年度			H25 年度		
	人	時間	一人当たり/月	人	時間	一人当たり/月
ゆらくの里	28	1831.0	5.0	29.7	1664.0	4.6
放課後等デイ	8	1276.5	12.9	8.7	1135.0	10.8
今人・我楽	11	927.5	7.2	16.5	1333.7	6.7
その他地域	4	382.2	11.6	3.0	389.0	10.8
計	51	4417.2	7.1	57.9	4521.7	6.5

〔参考〕新会計基準拠点別分類

拠点区分名	H25 年度		
	人	時間	一人当たり/月
ゆらくの里	33.9	1988.0	4.9
今人	11.7	899.2	6.4
地域	12.3	1634.5	11.0
計	57.9	4521.7	6.5

法人全体 一人当たり残業時間



〔支給金額〕

単位：千円

事業名	H24 年度			H25 年度		
	人	金額	増減率	人	金額	増減率
ゆらくの里	28	2,855	▲0.8%	29.7	2,659	▲6.8%
放課後等デイ	8	1,819	▲0.5%	8.7	1,526	▲16.1%
今人・我楽	11	1,532	▲0.1%	16.5	1,992	30.0%
その他地域	4	564	*.*%	3.0	587	4.0%
計	51	6,770	+2.5%	57.9	6,765	▲0.0%

※ゆらくの中には、直接支援者以外（管理、厨房など）の職員を含む。

※各事業の管理者は除く

※職員数（人）は、平成 26 年 3 月 31 日現在の人数

※今人我楽の中に、すみれの里が含まれる

〔参考〕新会計基準拠点別分類

単位：千円

拠点区分名	H25 年度		
	人	金額	増減率
ゆらくの里	33.9	3,106	—
今人	11.7	1,270	—
地域	12.3	2,389	—
計	57.9	6,765	—

□平成25年度有給休暇取得について

法人全体として、正職員の有給休暇取得日数が減少しています。取得理由の主なものは、体調不良及び私用によるものです。主な減少理由は、24年度にはインフルエンザが、ゆらくの里施設内で流行したことなどが考えられます。

法人全体として「リフレッシュ休暇」の促進を行っていますが、事業規模（職員数の多い少ない）などの要因により、事業間で取得率に差が出ております。

事業名	H24 年度			H25 年度		
	人	取得日数	1人当たり 年間取得日数	人	取得日数	1人当たり 年間取得日数
ゆらくの里	30	244	7.1	31.7	126.5	4.0
放課後等デイ	8	67	8.3	8.7	47	5.4
今人・我楽	12	29	2.4	17.5	56.5	3.2
その他地域	5	8	1.6	4.0	18	4.5
計	55	348	6.3	61.9	248	4.0

※「一人当たり年間取得日数」は、平均職員数で計算。

※ゆらくの里の中には、直接支援者以外（管理、厨房など）の職員を含む。

※各事業の管理者を含む。

〔参考〕新会計基準拠点別分類

拠点区分名	H25 年度		
	人	取得日数	1人当たり 年間取得日数
ゆらくの里	35.9	141.5	3.9
今人	12.7	56.5	4.4
地域	13.3	50.0	3.7
計	61.9	248	4.0

□平成25年度経常収入対人件費比率について

25年度は、新会計基準に移行したことで、

- ① 計算分母となる収入額に就労収入が含まれたこと
- ② 内部取引消去により法人全体で計算するときの分母が変動すること

など理由により、前年度との比較は参考としてください。

比較だけを見ますと、上で示した通り、就労収入が分母に加わったことで各部署の比率は減少しております。(デイサービスは対象外のため実増加が表示) 前年度と同条件でないため比較しにくいですが、ゆらくの里はその影響がなく減少しており、金額ベースの上昇を考えると、収入増があったことが考えられます。

[比率]

事業名	H24 年度		H25 年度	
	人件費率	前年度比較	人件費率	前年度比較
ゆらくの里	62.7%	▲0.8%	61.4%	▲1.3%
放課後等デイ	74.0%	+0.6%	74.6%	+0.6%
今人・我楽	68.6%	▲1.0%	60.8%	▲7.8%
その他地域	74.0%	+22.6%	71.7%	▲2.3%
計	65.0%	+0.6%	63.8%	▲1.2%

[参考] 新会計基準拠点別分類

拠点区分名	H25 年度	
	人件費比率	前年度比較
ゆらくの里	62.4%	—
今人	58.1%	—
地域	71.3%	—
計	63.8%	—

事業別の人件費率は以下のとおりであります。

拠点	施設名	事業名	人件費比率
ゆらく	ゆらくの里	施設入所、生活介護	61.4%
	コテージ	デイ、短期入所、日中一時	71.1%
今人	今人	就労移行、生活介護、B型	54.1% (72.5%)
	我楽(そら)	A型	50.4% (73.0%)
	すみれの里	生活介護、B型	108.6% (112.2%)
地域	しえーく	相談支援事業	125.3%
	はぐらいぶ	デイ	77.9%
	我楽(さぼーと、もんすてら)	生活介護、B型	66.4% (96.6%)
	のあ、そーる	共同生活介護、行動援護 居宅介護、移動支援	57.2%
計			63.8% (68.6%)

※カッコ内は、24年度の算出方法で計算した場合の数字であります。

金額ベースで見ますと、各拠点一定額が増えている中、今人拠点の大幅な増加は、すみれの里及び我楽B型がスタートしたことによる増加であります。ただし、すみれの里は7ヶ月のみが対象であります。

[金額]

単位：千円

事業名	H24年度		H25年度	
	人件費	人件費	人件費	前年度比較
ゆらくの里	204,376	+5,889	205,547	+1,171
放課後等デイ	46,745	▲2,493	47,464	+719
今人・我楽	63,316	+9,857	91,422	+28,106
その他地域	29,205	+12,746	31,332	+2,127
計	343,643	+25,999	375,766	+32,123

※経常収入のうち、「経理区分間勘定繰入金収入」は計算から除く。

※短期入所及び日中一時支援事業は、放課後等デイサービスに含む。

[参考] 新会計基準拠点別分類

拠点区分名	H25年度	
	人件費	前年度比較
ゆらくの里	231,431	—
今人	59,406	—
地域	84,928	—
計	375,766	—

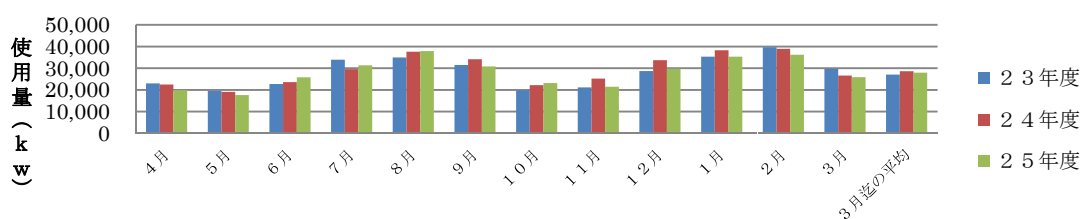
□平成25年度光熱水費について（ゆらくの里拠点）

各項目の使用量は、24年度と比較し、ほぼ同等前後と大きな増減はありませんが、電気量の5%減少は、照明のLED化及び普段の使用方法の効果努力であります。しかし一方で料金単価の値上げにより、金額ベースで見ると10～20%の増加となっております。26年度は増加幅を最小限に抑えることができるよう取り組んでいきます。

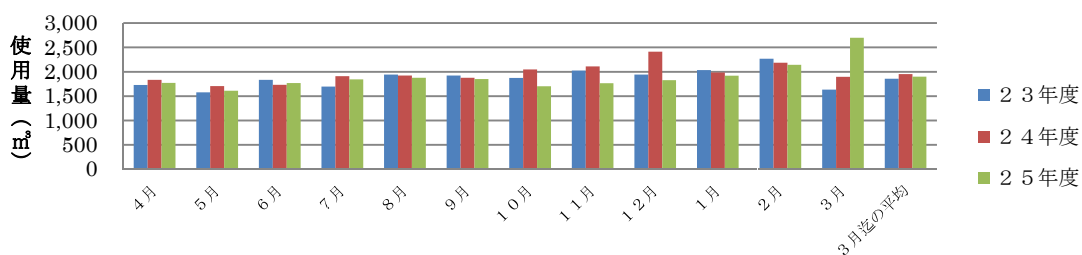
ゆらくの里（尼寺）

	平成24年度		平成25年度	
	金額	金額	前年度比較	
			使用量	金額
電気	5,771 千円	6,897 千円	95.4%	119.5%
水道	6,942 千円	6,697 千円	96.5%	96.5%
灯油	2,095 千円	2,209 千円	101.4%	105.4%
重油	2,875 千円	3,221 千円	104.1%	112.0%

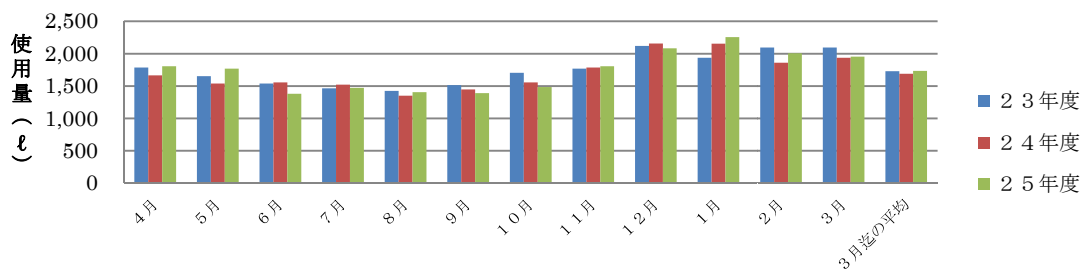
電気使用量（3期月別比較）



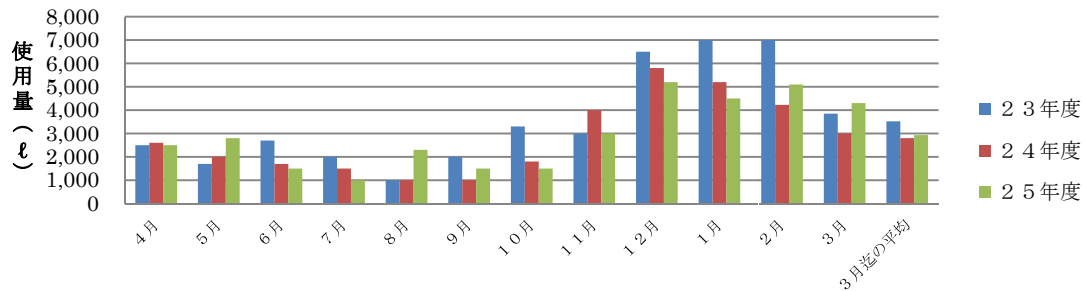
水道使用量（3期月別比較）



灯油使用量（3期月別比較）



重油使用量（3期月別比較）



□平成25年度就労支援施設の就労金について

《今人：就労移行》就職される方が増え、新しい方が入ることで、就労金単価がさがってしまいます。

《今人：生活介護》就労移行同様、新しい方が入られることで平均支給額は減少します。

《我楽：A型事業》最低賃金支給に変更したことで上昇。

《我楽：B型事業》25年度よりスタート。24年度は生活介護の中に含まれていた作業が独立。

《我楽：生活介護》一部作業がB型に独立したため平均工賃は減少。

《すみれの里：B型事業》平成25年9月よりスタート

事業名	平成24年度			平成25年度		
	支払額	平均利用人数	1人当たり工賃/月	支払額	平均利用人数	1人当たり工賃/月
今人						
就労移行	1,295,778	8.0	13,358	1,015,240	9.5	8,828
B型	689,745	3.0	19,159	484,753	2.0	20,198
生活介護	2,343,598	15.2	12,806	2,064,595	14.4	9,309
計	4,329,121			3,564,588	26.0	11,424
我楽						
B型	—			1,144,354	7.8	12,173
生活介護	1,139,053	17.0	5,583	626,128	10.0	3,489
A型	4,145,615	7.0	49,352	4,790,472	7.0	57,029
計	5,284,668			6,560,954	24.9	
すみれの里						
B型				67,725	2.8	3,983
生活介護				46,665		
計				114,390	2.8	
合計				10,239,932	52.3	17,573

□平成25年度固定資産の推移について

固定資産総額（簿価）は、798,636,670円（期首簿価比較13,730,998円減）。拠点別で見ますと、ゆらくの里拠点で9,374,031円減、今人拠点で1,817,796円減、地域拠点で2,539,171円の減となりました。25年度の固定資産計上額18,867,131円、処分による減少額608,799円、減価償却費31,989,330円となっています。

25年度には、ケアホーム（グループホーム）建設が予定されていたため、設備への資金投資額は、14,047,895円（24年度62,175,809円）と投資を控える結果となりました。

減価償却累計額は、475,779,253円であります。

○取得の主なもの（100万円以上のもの）

単位：円

内容	金額	拠点	事業
新就業システム	6,300,000	ゆらく	ゆらく
風鈴山荘（設計費など）（建設仮勘定計上）	3,839,000	ゆらく	本部
保冷車（☆）	1,836,938	地域	我楽B型

※☆印の資産は、補助金、寄付金等による取得資産であります。

※就業システムの資産計上は、ゆらくの里で行っていますが、法人全体のシステムであります。

○直近3年の設備投資額

	H23	H24	H25
設備投資額	11,554,229	62,175,809	14,047,895

※24年度は、ケアホーム（グループホーム）建設（設計費、土地購入など）のための事前発生費用24,640千円、カフェ内装工費等費用20,805千円などが発生しました。

□平成25年度修繕費の推移について

25年度は、前年度比90%増の8,132千円となりました。ゆらくの里及びボノボビルの修繕が目立ちました。ガラスの修繕は、ガラスからポリカへの入替により減少しました。

ゆらくの里では、平成30年度に大改修を予定していますが、設備の老朽化が目立つことなどから前倒しすることが賢明と考えられます。しかし資金面という課題があるため、26年度の事業運営が大切になってきます。

1. 25年度、修繕費の拠点別内訳は以下のとおりであります。

単位：円

拠点名	修繕費総額
ゆらくの里拠点	5,223,164
今人拠点	758,319
地域拠点	2,151,450
法人合計	8,132,933

2. 法人全体の過去5年間の推移

単位：千円

H21	H22	H23	H24	H25
6,471	6,556 (↑)	6,205 (↓)	4,269 (↓)	8,132 (↑)

3. 拠点別修繕内訳

単位：円

分類	ゆらくの里	今人	地域	計
水回り（機械含む）	1,904,166	14,595	643,003	2,561,764
ガラス	129,637	0	0	129,637
公用車	1,615,045	172,902	639,560	2,427,507
その他設備	1,574,316	570,822	868,887	3,014,025
計	5,223,164	758,319	2,151,450	8,132,933

□平成25年度経営成績について

1. 法人全体として

平成25年度から新会計基準へ移行したことで、前年度との正確な比較ができません。要因分析等は、各拠点にて行います。

《事業活動収支》

単位：千円

	H24	H25	増減
事業活動収入	560,473	588,341	27,868
事業活動支出	544,254	593,758	49,504
事業活動収支	16,218	△5,417	△21,635

《事業活動収入》

単位：千円

	H24	H25	増減
就労事業収入	37,023	41,269	4,246
福祉サービス	510,887	536,910	26,023
その他	12,561	10,161	△2,400
計	560,473	588,341	27,868

《事業活動支出》

単位：千円

	H24	H25	増減
人件費	343,643	375,766	32,123
事業費	125,660	106,333	△19,327
事務費	33,586	55,979	22,393
就労支援支出	39,963	50,778	10,815
その他	1,399	4,897	3,498
計	544,254	593,758	49,504

2. ゆらくの里拠点

《事業活動収支》

単位：千円

	H24	H25	増減
事業活動収入	366,101	370,823	4,722
事業活動支出	348,089	336,234	△11,855
事業活動収支	18,012	34,588	16,576

《事業活動収入》

単位：千円

	H24	H25	増減
就労事業収入	—	—	—
福祉サービス	354,562	361,302	6,740
その他	11,539	9,520	△2,019
計	366,101	370,823	4,722

○ゆらくの里（入所、生活ともに）の支援費報酬単価の変更による増加であります。

《事業活動支出》

単位：千円

	H24	H25	増減
人件費	231,151	231,431	280
事業費	92,990	71,344	△21,646
事務費	23,450	28,788	5,338
就労支援支出	—	—	—
その他	496	4,670	4,174
計	348,089	336,234	△11,855

○人件費の増加はほぼありません。（0.1%）退職者の増加が、人件費上昇を最小限に抑える結果となりました。

○事務費及び事業費の増減は、新会計基準に移行したことで、処理の変更があったためです。

○備品（消耗品、器具備品）の購入額が、1,000万円以上減少となっております。（24年度はLED設置備品が計上されています。9,765千円）

3. 今人拠点

《事業活動収支》

単位：千円

	H24	H25	増減
事業活動収入	93,823	102,173	8,350
事業活動支出	85,707	108,335	22,628
事業活動収支	8,116	△6,161	△14,277

《事業活動収入》

単位：千円

	H24	H25	増減
就労事業収入	30,674	29,983	△691
福祉サービス	62,324	71,775	9,451
その他	824	414	△410
計	93,823	102,173	8,350

○福祉サービスの増加は、すみれの里の開所による増加（18,154千円）ですが、今人就労移行支援事業の利用減による減少（8,500千円）も大きな要因となっております。

《事業活動支出》

単位：千円

	H24	H25	増減
人件費	40,777	59,406	18,629
事業費	8,929	12,137	3,208
事務費	4,680	7,656	2,976
就労支援支出	30,451	29,134	△1,317
その他	869	—	△869
計	85,707	108,335	22,628

○すみれの里の開所による増加（25,883千円）が要因となっております。

4. 地域拠点

《事業活動収支》

単位：千円

	H24	H25	増減
事業活動収入	100,547	119,078	18,531
事業活動支出	110,457	152,922	42,465
事業活動収支	△9,910	△33,844	△23,934

《事業活動収入》

単位：千円

	H24	H25	増減
就労事業収入	6,349	15,020	8,671
福祉サービス	94,000	103,831	9,831
その他	197	226	29
計	100,547	119,078	18,531

○我楽B型事業が開始による福祉サービス増加（6,811千円）及びカフェオープンによる増加（9,072千円）が主な要因であります。

《事業活動支出》

単位：千円

	H24	H25	増減
人件費	71,713	84,928	13,215
事業費	23,740	25,220	1,480
事務費	5,456	20,596	15,140
就労支援支出	9,511	21,946	12,872
その他	34	227	193
計	110,457	152,922	42,899

○我楽B型事業が開始されたための福祉サービス経費増加（27,313千円）及びカフェオープンによる経費増加（21,957千円）が主な要因であります。

5. 就労事業活動

《活動別別収支》

各作業の収支は下記の通りであります。

単位：円

活動名	売上	経費	利益
ふえりーちえ (パン)	9,740,763	8,741,745	999,018
そうじや (掃除)	1,495,228	2,160,361	▲665,133
レストラン	13,949,320	15,282,742	▲1,333,422
菓子	5,465,864	6,744,870	▲1,279,006
カフェ	9,072,885	17,041,600	▲7,968,715
B D F	1,196,420	1,516,112	▲319,692
野菜	36,100	66,659	▲390,291
内職	312,961	426,391	▲113,430
内部取引	3,733,850	—	
計	41,269,541	50,778,399	▲9,508,858

○内部取引による消去等発生するため、「明細の合計」と「計」の数字は一致しません。

○どの作業も運営していくためには見直しが必要。

《活動別収入》

各作業の決算書上の売上は以下の通りであります。25年度より新会計基準に移行したため、内部取引の消去による減少があり単純比較はできません。但し、次ページに内部取引を含んだ売上を記載しております。

単位：円

活動名	H 2 4	H 2 5	増減額
ふえりーちえ (パン)	11,515,148	9,740,763	▲1,774,385
そうじや (掃除)	2,185,152	1,495,228	▲689,924
レストラン	15,212,700	13,949,320	▲1,263,380
菓子	6,066,111	5,465,864	▲600,247
カフェ	—	9,072,885	9,072,885
B D F	1,485,600	1,196,420	▲289,180
野菜	—	36,100	36,100
内職	283,233	312,961	29,728
計	36,747,944	41,269,541	4,521,597

《活動経費（原価）率》

25年度の各作業の売上に対する原価及び原価率の詳細を見ると、労務費率が低い中で、材料費率や経費率が異常に高く発生しています。初期投資コストが落ち着いたので、25年度赤字の事業も黒字に転換できるようになります。

単位：千円・%

活動名	材料費		労務費		経費		計	
ふえりーちえ（パン）	4,249	35.0	2,221	18.2	4,097	33.7	10,569	87.0
そうじや（掃除）	—		1,182	52.6	1,031	45.9	2,214	98.6
レストラン	6,685	46.2	4,790	33.1	3,807	26.3	15,282	105.7
菓子	4,994	90.6	626	11.3	3,689	66.9	6,744	122.3
カフェ	2,428	26.7	518	5.7	11,498	126.6	17,041	187.7
BDF	—		219	28.5	1,355	176.8	1,516	237.0
野菜	—		8	28.5	58	207.1	66	235.7
内職	—		422	98.1	4	0.9	426	99.0
計	18,358	41.1	10,036	22.4	26,927	60.3	55,322	123.9

※事業活動収支計算書をベースに作成（減価償却費を含む）

※内部売上を含んだ各作業別の売上は以下のとおりであります。

単位：円、%

活動名	収入	利益	利益率
ふえりーちえ（パン）	12,139,383	1,569,610	12.9%
そうじや（掃除）	2,244,028	29,995	1.3%
レストラン	14,445,320	△837,452	**.*%
菓子	5,510,844	△1,671,445	**.*%
カフェ	9,078,985	△7,962,615	**.*%
BDF	766,550	△749,562	**.*%
野菜	28,900	△37,759	**.*%
内職	430,460	4,069	0.9%
計	44,644,470	△9,655,159	**.*%

◆レストラン事業〔我楽：A型事業 ふれあいキッチン「空・SORA」〕

収入減の主な要因は、老人会会員の減少による弁当注文数が減ったものと考えられます。26年度は、8月から調理師も変わり、新規メニューによるアップを図ります。

◆パン事業〔今人：生活介護事業など ふえりーちえ〕

売上総額は、12,139,383円となりました。（この売上額には内部取引を含む）各販売先の売上分析を行い、売上アップに努めた結果、目標の月1,000,000円を達成できました。

◆掃除事業〔今人：就労移行支援事業 そーじや〕

売上総額は、2,244,028円となりました。（この売上額には内部取引を含む）売上金額は24年度を上回りました。その主な要因は、仕事内容等を評価いただき単価アップにつながったことにあります。

◆BDF事業〔今人：就労移行支援事業〕

香芝市循環バス車両の減や他の販売先への注引量が減少傾向にありました。廃食油のBDF精製以外の使用法として、石鹸づくりなどを検討しています。

◆製菓事業〔我楽：就労継続B型事業 スウィートファクトリー モンステラ〕

テ米尔プロジェクトに参加しなくなったため大型のまとまった売上があがらなくなり収入減となりました。3月に「ならスイーツコンテスト」が行われ大賞を受賞したことで、26年度は、催事を実施するなど商品力を更に高めていきます。販売力及びご利用者への作業提供が結びつくような活動にしていきます。

◆カフェ事業〔我楽：就労継続B型事業 ナチュラルカフェ モンステラ〕

天然酵母パンなどを販売し地域1番店を目指して開店をしました。また以和貴会の授産品販売のアンテナショップでもあります。1年目、パン職人の雇用後、パン販売が軌道に乗ってきましたが、収支改善、投資回収が課題であります。

□平成25年度上期経営成績について

○安全性比率

名称	分析の目的	H23 H24.3.31	H24 H25.3.31	H25 H26.3.31
純資産比率	総資産のうち自己資金で賄えている割合を測定する。	95.0%	89.0%	95.9%
流動比率	短期に支払いを要する債務に対する支払い準備資産の割合を測定する。	509.1%	238.3%	793.9%
当座比率	短期に支払いを要する債務に対する支払準備の現金預金の割合を測定する。	169.8%	80.6%	331.6%
固定長期適合率	固定資産に投入された長期資金の割合を測定する。	46.6%	47.5%	85.8%
現金預金保有率	総資産に占める現金預金の割合を測定する。	12.2%	15.2%	11.5%
未収金回転期間	事業収入が現金化されるのに何か月要しているかの期間	2.45月	2.51月	1.86月
未払金回転期間	何か月分の経費支払いが残っているかを示す指標	1.90月	6.28月	0.56月
減価償却累計比率	償却資産の使用程度を把握する。	35.2%	35.5%	36.6%

※当年度減価償却累計比率算定するための固定資産には、土地が含まれております。

各比率等、前年度末と比較し改善傾向にあります。改善理由として24年度末には、設備関係の未払金（流動負債）が計上されていたことで、すべての指標が悪化する結果となりました。25年度では、大型の設備投資等が発生しなかったため、24年度と比較した場合、大幅に改善した結果となりました。「現金預金保有率」が悪化していること、「固定長期適合率」が上昇していることから、過度な設備投資が負担となり資金が減少していることがうかがえます。今後の事業計画に必要な資金確保が課題となります。

○収益性比率

名称	分析の目的	H23 H24.3.31	H24 H25.3.31	H25 H26.3.31
事業活動資金収支差額比率	事業活動の資金収支上の収益力を測定する。	4.8%	3.6%	▲0.9% (0.7%)
人件費比率	経常活動の収益力に人件費が及ぼしている影響を測定する。	64.4%	63.0%	63.8% (68.6%)

※事業活動収入の合計額から、経理区分間繰入金収入を除いている。

「事業活動資金収支差額比率」が大きく減少しています。10%を目指していける運営をしていかなければいけません。

カッコ書きは、24年度の会計基準を基に計算した数値であります。

○成長性比率

名称	分析の目的	H23 H24.3.31	H24 H25.3.31	H25 H26.3.31
事業（経常）活動 収入増加率	前年同月比での成長率を測定し、傾向を把握する。	104.1%	106.2%	112.3% (104.5)
人件費増加率		104.1%	108.1%	109.3%
事務費増加率		84.6%	95.4%	166.6%
事業費増加率		112.5%	109.2%	84.6%
事業（経常）活動 収支差額比率		120.7%	79.4%	— (21.3)

※事業活動収入の合計額から、経理区分間繰入金収入を除いている。

「事業（経常）活動収支差額比率」は順調に増加しています。ただし、他の指標と合わせて見た場合、収入増加以上の経費増加となっていることを問題視し、改善策を検討する必要があります。

カッコ書きは、24年度の会計基準を基に計算した数値であります。

○生産性比率

名称	分析の目的	H23 H24.3.31	H24 H25.3.31	H25 H26.3.31
総資産回転率	資産利用の効率性を測定する。	50.1%	48.3%	58.3% (54.2)
職員1人当たりの 事業（経常）活動 収入	職員1人が生み出す経常活動資金収入の額を測定する。	9,692 千円	9,319 千円	9,773 千円 (9,087)
利用者1人当たり 人件費	利用者一人当たりにかかる人件費の額を測定する。	5,004 円	5,328 円	17,646 円
職員1人当たりの 人件費	職員一人当たりにかかる人件費の額を測定する。	6,096 千円	5,874 千円	6,241 千円
職員1人当たりの 利用者数	職員1人当たりが担当する利用者数を測定する。	20.8 人	18.8 人	29.4 人
労働生産性	職員1人が生み出す付加価値の額	6,884 千円	7,168 千円	7,293 千円
労働分配率	生み出された付加価値が、人件費に分配された割合を測定する。	86.9%	81.9%	85.5%

※「職員1人当たりの利用者数」を除き、その他計算根拠に必要な「職員」には、間接職員を含み、パート職員、アルバイト職員は除く。

※事業活動収入の合計額から、経理区分間繰入金収入を除いている。

※人件費は、簡易に計算ができるため非常勤給与も含む。

※平均職員数は、H25年度は60.3人、H24年度は58.5人、H23年度は52.1人で計算。

※年間利用延べ人数には、そーる、しえーくの利用者を含んでいない。（総数にあまり影響がないため）

新規事業による増加はあるものの、既存施設での職員の減少が、各指標に影響していると考えられます。職員の雇用を早急に対応していかなければなりません。

カッコ書きは、24年度の会計基準を基に計算した数値であります。

また、事業別の職員一人あたりの収入額（職員1人当たりの収入を計上するための働き）は以下のとおりであります。

事業名	1人当たりの収入
ゆらくの里	9,787,677
コテージ	6,990,765
はぐ・らいぶ	5,039,702
しえーく	3,861,177
のあ・そーる	6,745,977
今人	7,727,997
我楽	5,513,353
そら	4,437,760
すみれの里	1,805,511
計	7,200,246

※収入は、就労収入、支援費収入及びその他事業収益の合計であり、事業活動収支計算書から作成しています。

※各事業の人員数は、「職員状況」の26年3月31日の人員数に事業責任者を加え、間接職員を除いています。またパート職員は、3月給与支給をベースに常勤換算して算出しております。

※そらには、就労職員7名を常勤換算して算出しております。

□資金残高について

◆資金（預金残高）の推移について

1. ゆらくの里拠点・地域拠点

	平成 22 年 3 月 31 日	平成 23 年 3 月 31 日	平成 24 年 3 月 31 日	平成 25 年 3 月 31 日	平成 26 年 3 月 31 日
実残高	101,497,292	73,164,388	84,296,123	107,033,895	71,275,512
積立	43,405,000	30,280,000	50,280,000	88,280,000	38,280,000
会計上 残	58,092,292	42,884,388	34,016,123	18,753,895	32,995,512
前期 比較	↑ 20,345,105	↓ 28,332,904	↑ 11,131,735	↑ 22,737,772	↓ 35,758,383

※前期比較は、預金実残高で比較

※22年度の減少は、①土地の購入、②エアコン設備更新

※24年度までは、我楽の資金は「今人拠点」に含めて作成していました。その額は約 25,000,000 円であります。

2. 今人拠点

	平成 22 年 3 月 31 日	平成 23 年 3 月 31 日	平成 24 年 3 月 31 日	平成 25 年 3 月 31 日	平成 26 年 3 月 31 日
実残	24,211,759	32,602,913	31,197,721	64,522,040	44,457,725
積立	4,180,000	7,300,000	8,850,000	9,650,000	12,245,000
会計上 残	20,031,759	25,302,913	22,347,721	54,872,040	32,212,725
前期 比較	↓ 1,249,701	↑ 8,391,154	↓ 1,405,192	↑ 33,324,319	↓ 20,064,315

※25年度の増加は、借入金（20,000 千円）による増加を含む。

※25年度より、我楽の資金は「ゆらくの里拠点・地域拠点」に含めて作成しております。その額は約 7,000,000 円であります。

「ゆらくの里拠点・地域拠点」の預金残は、集計区分の変更に加え我楽の人件費をはじめ一部経費の立替精算が行われていないため資金が減少しております。（立替平成 26 年 3 月末残高 59,401,986 円。うち 35,472,468 円は、25 年度に計上されたもの）

「今人拠点」の預金残高は、集計区分の変更に加え就労事業及び福祉サービス事業ともに事業活動支出の増加による影響であります。

◆積立金の使用目的について

平成30年度実施の「ゆらくの里大規模修繕」に充てる予定でありましたが、

- ① 運用資金残高が減少したことで、期中 50,000,000 円の取崩を実施
- ② 施設の設備の老朽化により、30年度までには、多くの箇所を修繕していかなければならないこと。

により、26年度以降、かなりハイペースでの資金収支残高を確保し積み立てていかなければなりません。それには、我楽B型の事業運営の改善が必要であります。

◆今後の資金計画について

26年度以降、大掛かりでテコ入れが必要となってきました。26年度にはグループホーム建設が始まり、資金発生が起こります。無駄のないように無理なく行えるために、不要不急なものへの投資を極力抑えていきます。

□平成24年度監事監査報告に対する法人の対応

○栗谷監事からの報告に対する取組

1. 理事長公用車使用について

ご指摘いただいてすぐ（理事会開催後）に、運行記録票を準備し、使用状況の透明化する体制を整えました。

2. ボノボビルの費用支出の区分明確化について

発生経費について、費用支出区分（費用負担者）の確認をしており、所有者負担となり得る修繕等は実施しておりません。

また、資産（土地建物）の法人所有への変更を検討しており、平成26年度において、取得費用とは別の修繕計画が必要となります。

※23年度報告事項の取組から・・・

積立金残高の十分な確保が未だ進んでおりません。できる限り可能な範囲において、最優先で進めていくこととしております。

○櫻井監事からの報告に対する取組

1. 健康について

《運動・医療》

ご利用者に楽しんで参加して頂けるように、日々の運動プログラムの工夫を行ってまいりました。26年度以降も継続して取り組んでまいります。また、新たな取り組みとして、以下の2点を行いました。

- ・口腔ケアの対象者をご利用者全員として拡大
- ・脂質異常症者への運動プログラム
春・夏期…プールでの水泳・ウォーキング
秋・冬期…公園等でのウォーキング)

両方とも、囑託医から成果があったとご意見を頂いております。

《食事》

5名のご利用者については、別室で食べていただくように変更を致しました。落ち着いて食べていただける環境の設定が必要な為、更に検討を重ねたいと考えております。

2. 環境について

老朽化への改修対応を随時行いましたが、支援に必要な新たな設備の設置は平成26年度に延期となっております。また、大規模改修にて、出来る限りのユニット化・個室化が実現できるように計画をしております。改修に向けて、資金の積み立てができるように財務の見直しを行っていきたいと思います。

3. 支援について

人員配置数を増やし、ご利用者に寄り添った支援の充実ができるように予定しておりましたが、平成25年度におきましては、思い描いている通りの補充ができず、次年度以降の課題となっております。

4. 虐待防止について

各スタッフでセルフチェックシートの記入を行いました。スタッフの虐待防止に関する意識が高まり、日々の支援にも活かされてきております。虐待防止委員会については、法人全体で平成26年度より開催を予定しています。

その他について

アシスタントスタッフの育成強化を目指し、勉強会を毎月実施いたしました。支援内容への理解を深めてもらうことや専門性向上に繋がりましたが、家庭事情により参加できないスタッフも多く、平成26年度から、実施時間を夜間から日中に移すことに致します。

□平成25年度研修等報告

1. ゆらくの里

○ゆらくの里

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
5月16日	奈良県知的障害者施設協会総会	県社会福祉総合センター	中山
6月1日 2日	SSTファーストレベル講習会 NPO法人地域生活支援ネットワーク ケアサポート	奈良県中小企業会館	山内・通阪
6月8日	てんかん発作の種類と観察と記録について 奈良県知的障害者施設協会看護師部会 及び新任職員研修	ボノボビル	杉本・山本 中山看護師
6月14日	成年後見制度及び虐待防止法について 香芝市福祉課	香芝市総合福祉センター	吉田
8月30日	奈良県障害者施設協会看護師部会	青葉仁会	中山看護師
9月9日	施設見学	社会福祉法人大木会 一麦寮	杉本・福本 服部・黒松
10月12日	認知症について 奈良県知的障害者施設協会看護師部会 及び職員研修	やすらぎの丘	俵原・黒松 中山看護師
10月21日	施設見学	三田谷治療教育院	北村・通阪 浦林
11月9日	社内木鶏説明会	京都みやこめっせ	中山
11月25日	寄り添いあえる支援 権利擁護 から意思決定支援へ 奈良県心身障害者施設連盟職員研修会	県社会福祉総合センター	服部
12月9日	社会福祉法人経営者向けセミナー 税理士法人アシスト	県社会福祉総合センター	岩井・中山 畝岡
1月24日	会計講習	ゆらくの里	中山
1月28日	腰痛予防対策講習会 日本労働安全衛生コンサルタント	奈良県産業会館	福本
2月13日 14日	近畿地区知的障害者関係施設 職員研修会	神戸メリケンパーク オリエンタルホテル	中山・杉本
2月27日	障害支援区分に関する説明会 奈良県	県社会福祉総合センター	中山
3月1日	自閉症 e サービス実践報告会	大阪研修センター	中山・杉本 俵原・中島

○栄養士（調理師含む）

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
5月23日	奈良県栄養士会総会	奈良県産業会館	米田
5月31日	療養食加算について 障がい者施設栄養士の会研修	こだまの里	米田
7月3日	摂食と食事について 楽しく体を動かそう 障がい者施設栄養士の会研修	春日野荘	米田
7月12日	食中毒予防について 葛城保健所	奈良県産業会館	米田・北原
9月3日	栄養ケアマネジメント 療養食提供に関する技術の向上 障がい者施設栄養士の会研修	県社会福祉総合センター	米田
9月24日	栄養教室 障がい者施設栄養士の会研修	つわぶき苑	米田
11月19日	世話人対象栄養教室 障がい者施設栄養士の会研修	心境荘園	米田
1月22日	薬と食物の相互作用について 障がい者施設栄養士の会研修	青垣園	米田
3月6日	栄養教室、次年度計画 障がい者施設栄養士の会	仁優園	米田

○管理

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
4月3日	「理念と経営」経営者の会 近畿 地区奈良大会 日創研	さざんかホール	森本
11月25日	業績アップにつながる人事労務管理 の新技术「休暇の増加で社員のやる 気をアップ」 厚生労働省 特休事務局	エルトピア奈良	森本
1月16日	相続対策&消費税セミナー 税理士法人アシスト	奈良商工会議所	森本
1月24日	福祉後見推進フォーラム 奈良県社会福祉協議会	県社会福祉総合センター	畝岡

2. 今人・我楽

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
4月 18日 19日	社内木鶏会推進リーダー育成会 議 致知出版社	東京	理事長・大谷
6月 14日	これって虐待、判断とその対応 香芝市社会福祉協議会	香芝市総合福祉セ ンター	大谷
6月 17日	介護体験事業受入説明会 奈良県社会福祉協議会	県総合福祉センタ ー	大谷
7月 31日	工賃向上研修 奈良県	県総合福祉センタ ー	大谷・岡
8月 5日	施設見学	ゆたか福祉会 つゆはし作業所	大谷・高科 池原・向井
8月 30日	発達障害研修会 でいあ〜	大和郡山城ホール	ト田
9月 17日	工賃向上研修 奈良県	県総合福祉センタ ー	大谷・岡
9月 26日	ぼれぼれ地域活動 勉強会	ボノボビル	大谷
11月 11日	明日香養護学校見学	明日香養護学校	大谷・高科
12月 10日	工賃向上研修 奈良県	県総合福祉センタ ー	岡
2月 4日	発達障害者への就労訓練や職場 定着支援について	大和高田総合庁舎	大谷・ト田
2月 10日	奈良県障害者虐待防止・権利擁護 研修 奈良県	県総合福祉センタ ー	大谷
2月 13日 14日	近畿地区知的障害者関係施設 職員研修会	神戸メリケンパーク オリエンタルホテル	理事長・大谷 高科・阪本
2月 18日	奈良県障害者虐待防止・権利擁護 研修 奈良県	県総合福祉センタ ー	大谷
3月 1日	自閉症 e サービス実践報告会	大阪研修センター	北井・阪本 岡
3月 22日	発達心理学会第 25 回大会 社団法人日本発達心理学会	京都大学	北井・阪本

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
3月 20日	障がい者農業チャレンジ研修会	リサイクル館かしはら	堀川

3. 今人（eサービス基礎講座研修）

月日	研修等内容 主催など	参加者
6月 22日	自閉症の特性・ペアレントトーク 大阪研修センター	阪本
7月 6日	評価 ラポールひらたか	北井
10月 5日	構造化 ラポールひらかた	北井
11月 16日	コミュニケーション 大阪研修センター	阪本

4. 相談支援事業

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
5月20日	相談支援部会 日本知的障害者福祉協会	協会本部	吉田
5月25日	自閉症スペクトラムの特性理解 と支援 奈良県・でいあ～	奈良県産業会館	吉岡
5月27日	新任職員研修 奈良県社会福祉協議会	県社会福祉総合センター	吉岡
6月8日	てんかん「発作の種類と観察と記録について」 奈良県知的障害者施設協会	ボノボビル	吉田・吉岡
6月27日	中和地区障害者就労支援機関連絡協議会 ブリッジ	奈良県産業会館	吉田・吉岡
7月4日	障害程度区分認定調査員研修 奈良県	奈良県文化会館	吉岡
7月18日	相談支援部会 日本知的障害者福祉協会	協会本部	吉田
8月8日	奈良県相談支援従事者研修現任 研修 奈良県	奈良県中小企業会館	吉田
10月24日	西和養護学校地域別懇談会（北葛城郡） 西和養護学校PTA	河合町まほろばホール	吉田
11月25日	サービス等利用計画に関する専門研修 奈良県	奈良県産業会館	吉岡
11月28日	西和養護学校地域別懇談会（生駒郡） 西和養護学校PTA	斑鳩ホール	吉田・吉岡
12月3日	西和養護学校地域別懇談会（香芝市） 西和養護学校PTA	香芝市総合福祉センター	吉田・吉岡
12月12日	相談支援部会 日本知的障害者福祉協会	協会本部	吉田
12月20日	障害者差別禁止条例 中和地区相談支援事業所連絡会	大和高田福祉会館	吉田・吉岡
1月9日	西和養護学校進路ガイダンス 西和養護学校	西和養護学校	吉田・吉岡
1月17日	教育支援コーディネーター研修 奈良県教育委員会	香芝市役所	吉田

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
2月 4日	発達障害者就労支援研修会 ブリッジ	大和高田福祉会館	吉田・吉岡
2月 12日	相談支援部会 日本知的障害者福祉協会	協会本部	吉田
2月 25日	障害のある子供の行動と支援 奈良県立登美学園	登美学園	吉岡
2月 27日	障害支援区分説明会 奈良県	県社会福祉総合センター	吉田・吉岡
3月 5日 6日	日本知的障害者福祉協会 部会 分科会 日本知的障害者福祉協会	TFTビル	吉田
3月 11日	新任職員研修 奈良県	県社会福祉総合センター	吉岡
3月 24日	奈良県相談支援事業所研修会 西和地区自立支援協議会	大和郡山城ホール	吉岡

5. 児童課

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
4月 6日	発達障害のある子供たちへの支援 でいあ〜	県社会福祉総合センター	浦田・松田 堀川・西本
4月 18日	新任職員研修 福祉サービスの 基本理念 奈良県社会福祉協議会	県社会福祉総合センター	大橋
4月 26日	新任職員研修 新任職員の健康 管理（心の健康を考える） 奈良県社会福祉協議会	かしはら万葉ホール	大橋
5月 9日	新任職員研修 組織活動 奈良県社会福祉協議会	県社会福祉総合センター	大橋
5月 21日	新任職員研修 サービスの実践 奈良県社会福祉協議会	かしはら万葉ホール	大橋
5月 27日	新任職員研修 福祉サービスの 基本理念 奈良県社会福祉協議会	県社会福祉総合センター	大橋
6月 8日	てんかん「発作の種類と観察と記録について」 奈良県知的障害者施設協会	ボノボビル	玉井・勝村 西村

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
9月 4日	奈良県相談支援従事者研修 障害者総合支援法等の概要 奈良県障害福祉課	奈良県産業会館	玉井
9月 9日	奈良県相談支援従事者研修 自分らしく生きる(障害者ケアマネジメント) 奈良県障害福祉課	奈良県産業会館	玉井
10月 2日	香芝市市民公開講座 親子で考える 香芝市生涯学習課	香芝市総合福祉センター	堀川・西本
10月 8日	香芝市市民公開講座 親子で考える 香芝市生涯学習課	香芝市総合福祉センター	堀川・西本
10月 16日	香芝市市民公開講座 親子で考える 香芝市生涯学習課	香芝市総合福祉センター	堀川・西本
10月 24日	香芝市市民公開講座 親子で考える 香芝市生涯学習課	香芝市総合福祉センター	堀川・西本
10月 30日	香芝市市民公開講座 親子で考える 香芝市生涯学習課	香芝市総合福祉センター	堀川・西本
11月 15日	「今を知る」共生社会の実現に向けて子育ては親育て 奈良県手をつなぐ育成会	県社会福祉総合センター	浦田・松田 堀川・西本
12月 12日	言葉の力・言語力とコミュニケーション支援 香芝市手をつなぐ育成会	香芝市社会福祉協議会	西村
1月 17日	奈良県相談支援従事者研修 児童発達管理責任者の役割に関する講義 奈良県障害福祉課	奈良県産業会館	玉井
2月 20日	奈良県相談支援従事者研修 アセスメントとサービス提供の基本姿勢 奈良県障害福祉課	桜井総合庁舎	玉井
2月 21日	奈良県相談支援従事者研修 サービス提供プロセスの管理に関する講習 奈良県障害福祉課	桜井総合庁舎	玉井
2月 25日	障害のある子供の行動と支援 奈良県立登美学園	登美学園	玉井・勝村 大橋・西村 浦田・松田 堀川・西本

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
3月 3日	心理学研修 人生が180度変わる 幸せ発見法 日本メンタルヘルス協会	日本メンタルヘルス協会 大阪校	堀川
3月 11日	新任職員研修 1年の振り返り 奈良県社会福祉協議会	県社会福祉総合センター	大橋
3月 12日	心理学研修 大切な人と分かり 合える解決法 日本メンタルヘルス協会	日本メンタルヘルス協会 大阪校	堀川

6. 地域支援（ケアホーム）

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
6月	奈良県防火管理講習会	奈良県	山林
7月 11日 12日	第25回全国GH・CH等研修会	岡山県	藤井
5月 ～ 9月	介護職員初任者研修	奈良県	藤井
8月 9月	介護福祉士実技講習	奈良県	山林
1月 21日 22日	地域支援セミナー	東京都	山林
1月 29日	大阪市移動支援集団説明会	大阪市	山林